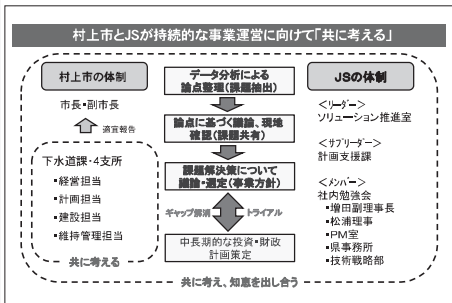




特集 下水道展'17東京

区分	下水道		集落排水	合計
	公共下水道	特種公共下水道		
処理区数	2箇所	9箇所	17箇所	28箇所
計画人口	25,820人	17,140人	19,290人	62,250人
計画汚水量(日最大)	12,200m <sup>3</sup> /日	9,650m <sup>3</sup> /日	5,006m <sup>3</sup> /日	26,856m <sup>3</sup> /日
供用開始年	昭和63年~平成10年	昭和60年~平成13年	昭和59年~平成22年	

村上市の下水道及び集落排水処理施設の概要



「共に考える」勉強会のフロー

「共に考える」勉強会のフローは、まず「課題抽出」から始まり、「課題共有」を経て、「課題解決策について議論・決定」が行われます。この過程には「キャッチボール」と「トライアル」が繰り返され、最終的に「中長期的な投資・財政計画策定」が完了します。この結果として「共に考える、知恵を出し合う」の成果が得られます。

今後に向けて、我々は「共に考える」の精神を堅持し、さらなる課題抽出と解決策の共有を進めていきます。また、2015年度の下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン策定を支援し、ドラッグの中で「下水道事業を持続的に運営する観点から、経営管理



「共に考える」勉強会の主要メンバー

「共に考える」勉強会の主要メンバーは、村上市の各部署とJSの各部署から選ばれたメンバーで構成されています。彼らは定期的に集まり、課題抽出と解決策の共有を進めています。この活動を通じて、お互いの知恵を出し合い、持続的な事業運営を実現しています。

データの精度向上が課題



村上市下水道課 管理業務室係長 齋藤 健一氏

「データ分析による課題抽出」は、データの精度向上が最大の課題です。特に、集落排水のデータは、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

職員の意識改革の効果が



村上市下水道課 管理業務室係長 渡邊 貴志氏

「職員の意識改革」は、業務効率化とコスト削減に大きく貢献しています。特に、集落排水の業務は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

実現性のある事業計画に



村上市下水道課 長 早川 明男氏

「実現性のある事業計画」は、持続的な事業運営の鍵となります。特に、集落排水の業務は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。

また、30年を過ぎた「旧」の設備の老朽化による、データの精度低下も課題の一つです。特に、集落排水の設備は、従来の手入力によるため、精度が低く、信頼性が低いという課題があります。また、データの収集方法も、従来の手入力から、センサーによる自動収集への移行が求められています。



村上市浄化センターの調査状況